

## 1. 構造名：

塗装鋼板・硬質ウレタンフォーム・アスファルト系ルーフィング・野地板〔木質系ボード、セメント系ボード又は火山性ガラス質複層板〕表張／支持部材〔木製又は鋼製〕屋根

## 2. 仕様の形状・寸法等

仕様の形状・寸法等を表1に示す。

表1 仕様の形状・寸法等

項目	仕様
形状	平板葺き形状
支持部材の間隔	606mm 以下
支持部材の傾斜角度	0° 以上 70° 未満

## 3. 仕様の主構成材料

仕様の主構成材料を表2に示す。

表2 仕様の主構成材料

項目	仕様
葺材	仕様：①又は② ①長さ：1800(-5)～10000(+5)mm 幅：301.5(±30)mm(有効幅：260(±26)mm) 厚さ：0.35(-0.05)～17.0(+2)mm ②長さ：1800(-5)～10000(+5)mm 幅：309(±31)mm(有効幅：260(±26)mm) 厚さ：0.35(-0.05)～12.0(+2)mm 質量：4.6(-0.46)～15(+1.5)kg/m <sup>2</sup> 構成：①～③ ①表面材：塗装鋼板 厚さ：0.35～1.0mm 材料：1)～3) 1)表面塗装：a)又はb) a)質量：49(+4.9)g/m <sup>2</sup> 以下 有機質量：35(+3.5)g/m <sup>2</sup> 以下 組成(質量%)：i)及びii) i)合成樹脂 85.4(+1.5)以下 材質：(1)～(6)の一、又は組合せ (1)ポリエステル系樹脂 (2)フッ素系樹脂 (3)ウレタン系樹脂 (4)エポキシ系樹脂 (5)ポリ塩化ビニル系樹脂 (6)ポリエチレン系樹脂 ii)無機質系顔料(アルミ、酸化チタン等) 14.6(-1.5)以上 b)なし

つづく

<p>葺材 (つづき)</p>	<p>2) 基材 : a) ~ l) の一</p> <p>a) 溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯 (JIS G 3321)</p> <p>b) 溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯 (JIS G 3317)</p> <p>c) 溶融アルミニウムめっき鋼板及び鋼帯 (JIS G 3314)</p> <p>d) 溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板及び鋼帯 (JIS G 3323)</p> <p>e) 一般構造用圧延鋼材 (JIS G 3101)</p> <p>f) 冷間圧延鋼板 (JIS G 3141)</p> <p>g) 熱間圧延軟鋼板 (JIS G 3131)</p> <p>h) 電気亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3313)</p> <p>i) 建築構造用溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板 (国土交通大臣認定指定建築材料 : MSTL-0064、MSTL-0065、MSTL-0069、MSTL-0070、MSTL-0362、MSTL-0395)</p> <p>j) 冷間圧延ステンレス鋼板 (JIS G 4305)</p> <p>k) 熱間圧延ステンレス鋼板 (JIS G 4304)</p> <p>l) 溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯 (JIS G 3302)</p> <p>a) ~ l) の原板厚さ : 0.35 ~ 1.0mm</p> <p>3) 裏面塗装 : a) ~ c) の一</p> <p>a) 質量 : 15.3 (+1.5) g/m<sup>2</sup> 以下  有機質量 : 8.4 (+0.8) g/m<sup>2</sup> 以下  組成 (質量%) : i) 及び ii)</p> <p>i) 合成樹脂 55 (+4.5) 以下  材質 : (1) ~ (6) の一、又は組合せ</p> <p>(1) ポリエステル系樹脂  (2) フッ素系樹脂  (3) ウレタン系樹脂  (4) エポキシ系樹脂  (5) ポリ塩化ビニル系樹脂  (6) ポリエチレン系樹脂</p> <p>ii) 無機質系顔料 (アルミ、酸化チタン等) 45 (-4.5) 以上</p> <p>b) 質量 : 10.5 (+1.0) g/m<sup>2</sup> 以下  有機質量 : 6.3 (+0.6) g/m<sup>2</sup> 以下  組成 (質量%) : a) 及び b)</p> <p>i) 合成樹脂 60 (+4) 以下  材質 : (1) ~ (6) の一、又はその組合せ</p> <p>(1) ポリエステル系樹脂  (2) フッ素系樹脂  (3) ウレタン系樹脂  (4) エポキシ系樹脂  (5) ポリ塩化ビニル系樹脂  (6) ポリエチレン系樹脂</p> <p>ii) 無機質系顔料 (アルミ、酸化チタン等) 40 (-4) 以上</p> <p>c) なし</p>
---------------------	--

つづき

<p>葺材 (つづき)</p>	<p>②芯材：硬質ウレタンフォーム 厚さ：1)又は2) 1)仕様①：0(最小部)～16.5(最大部) 2)仕様②：0(最小部)～11.5(最大部) 密度：25(±3)kg/m<sup>3</sup> イソシアネート指数：82 組成(質量%) ポリイソシアネート 59(±6) ポリエーテル系ポリオール30(±4) 水 3(±3) 難燃剤(りん酸エステル) 6(±2) 添加剤(ウレタン化触媒、製泡剤等) 2(+3、-2) ※水及び添加剤の割合が0以下となる仕様は含まない ③裏面材：1)～3)の一 1)アルミニウム蒸着紙 厚さ：0.210(±0.020)mm 質量：164(±15)g/m<sup>2</sup> 有機質量：164(±15)g/m<sup>2</sup> 構成：a)～c) a)アルミニウム蒸着ポリエチレンテレフタレート 厚さ：0.012(±0.0012)mm(張り合わせ前) 質量：16.31(±7.71)g/m<sup>2</sup>(張り合わせ前) b)中芯紙 厚さ：0.200(±0.020)mm(張り合わせ前) 質量：120(±3.6)g/m<sup>2</sup>(張り合わせ前) c)ポリエチレン系樹脂 厚さ：0.03(±0.004)mm(張り合わせ前) 質量：27.69(±3.692)g/m<sup>2</sup>(固形量)(張り合わせ前)</p>
---------------------	---

つづく

つづき

<p>葺材 (つづき)</p>	<p>2) アルミニウムはくラミネートクラフト紙 厚さ：0.161(±0.0187)mm 質量：137(±22.3)g/m<sup>2</sup> 有機質量：118(±20.3)g/m<sup>2</sup> 構成：a)～c) a) アルミニウムはく 厚さ：0.007(±0.0007)mm 質量：19(±2)g/m<sup>2</sup> b) クラフト紙 厚さ：0.124(±0.015)mm 質量：90(±20)g/m<sup>2</sup> c) ポリエチレン系樹脂 厚さ：0.03(±0.003)mm 質量：28(±0.3)g/m<sup>2</sup></p> <p>3) アルミニウムはくラミネート炭酸カルシウム紙 厚さ：0.23(±0.02)mm 質量：195.4(±21.3)g/m<sup>2</sup> 有機質量：90.9(±9.1)g/m<sup>2</sup> 構成：a)～c) a) アルミニウムはく 厚さ：0.007(±0.0007)mm 質量：19(±0.2)g/m<sup>2</sup> b) 炭酸カルシウム紙 厚さ：0.18(±0.02)mm 質量：135(±13.5)g/m<sup>2</sup> 有機質量：45.9(±4.6)g/m<sup>2</sup> 組成(質量%) 炭酸カルシウム 55(±4.5) パルプ 26(±2.6) ガラス繊維 11(±1.1) バインダー (アクリル樹脂系)8(±0.8) c) ポリエチレン系樹脂 厚さ：0.05(±0.005)mm 質量：45(±4.5)g/m<sup>2</sup></p>
---------------------	--

つづく

つづき

下葺材	<p>材料：①～④の一</p> <p>①アスファルト系ルーフィング (JIS A 6005) 単位面積質量の呼び：940 有機質量：940g/m<sup>2</sup>以下 上下方向重ね幅：600mm以下 左右方向重ね幅：250mm以下</p> <p>②アスファルトルーフィング1500 (JIS A 6005) 単位面積質量の呼び：1500 有機質量：1500g/m<sup>2</sup>以下 上下方向重ね幅：600mm以下 左右方向重ね幅：250mm以下</p> <p>③砂付ルーフィング (JIS A 6005) 単位面積質量の呼び：3500 有機質量：2500g/m<sup>2</sup>以下 ルーフィング材質：アスファルト系 上下方向重ね幅：600mm以下 左右方向重ね幅：250mm以下</p> <p>④改質アスファルトルーフィング 質量：1枚または2枚の合計3800(+380)g/m<sup>2</sup>以下 有機質量：3400g/m<sup>2</sup>以下 組成(質量%)：1) 及び2) 1)改質アスファルトルーフィング・ポリエステル不織布 89.5(+1)以下 (内、改質剤(スチレン系熱可塑性エラストマー)9.0以下) 2) 鉍物質 10.5(-1)以上 粘着層：1)又は2) 1)改質アスファルト系粘着剤 2)なし 上下方向重ね幅：600mm以下 左右方向重ね幅：250mm以下</p>
-----	---

つづく

## つづき

野地板	仕様：(1)～(3)の一
(1) 木質系ボード	材料：①～④の一 ①日本農林規格に適合する普通合板 ②日本農林規格に適合する構造用合板 ③日本農林規格に適合する構造用パネル ④素地パーティクルボード(JIS A 5908) 厚さ：9mm以上
(2) セメント系ボード	材料：①～④の一 ①木質系セメント板(JIS A 5404)：1)又は2) 1)硬質木片セメント板 厚さ：12mm以上 2)硬質木毛セメント板 厚さ：15mm以上 ②繊維強化セメント板(JIS A 5430) 厚さ：9mm以上 ③パルプセメント板(JIS A 5414) 厚さ：9mm以上 ④繊維混入けい酸カルシウム板 (国土交通大臣認定不燃材料：NM-8578) 厚さ：9mm以上
(3) 火山性ガラス質複層板	材料：火山性ガラス質複層板(JIS A 5440) 厚さ：9mm以上
支持部材	仕様：(1)又は(2)
(1) 木製下地 (たる木)	材料：①～⑥の一 ①一般製材 ②日本農林規格に適合する合板 ③日本農林規格に適合する針葉樹の構造用製材、 構造用集成材、造作用製材又は下地用製材 ④日本農林規格に適合する 構造用単板積層材又は造作用単板積層材 ⑤日本農林規格に適合する枠組み壁工法構造用製材 又は構造用たて継ぎ材 ⑥日本農林規格に適合する構造用パネル 断面寸法(mm)：幅30×高さ30mm以上
(2) 鋼製下地	材料：①～⑤の一 ①軽溝型鋼(JIS G 3350) 断面寸法：60×30×1.6mm以上 ②リップ溝型鋼(JIS G 3350) 断面寸法：60×30×10×1.6mm以上 ③軽山型鋼(JIS G 3350) 断面寸法：40×40×3.2mm以上 ④軽Z型鋼(JIS G 3350) 断面寸法：75×47.7×2.3mm以上 ⑤ハット型鋼(JIS G 3350) 断面寸法：40×56.8×1.6mm以上

4. 仕様の副構成材料：

仕様の副構成材料を表3に示す。

表3 仕様の副構成材料

項目	仕様
留付材	<p>仕様：①～③</p> <p>①野地板固定用：1)又は2)            1)くぎ：φ1.6×L25mm以上            2)ねじ：φ2.9×L25mm以上            材質：a)又はb)            a)ステンレス鋼製            b)鋼製            留付間隔：幅方向606mm以下            流れ方向980mm以下</p> <p>②葺材固定用：1)又は2)            1)くぎ：φ1.6×L25mm以上            2)ねじ：φ2.9×L25mm以上            材質：a)又はb)            a)ステンレス鋼製            b)鋼製            留付間隔：幅方向606mm以下            流れ方向260mm以下</p> <p>③下葺材固定用：1)～4)の一            1)ブチルゴム系防水テープ            質量：250g/m以下            厚さ：2.0(+0.2)mm以下            幅：100mm以下            2)ゴムアス系防水テープ            質量：180g/m以下            厚さ：2.0(+0.2)mm以下            幅：100mm以下            3)アクリル系樹脂防水テープ            質量：160g/m以下            厚さ：2.0(+0.2)mm以下            幅：100mm以下            4)ステーブル            材料：a)又はb)            a)ステンレス鋼製            b)鋼製            内幅：9.6mm以上            足長さ：6mm以上</p>

5. 構造説明図

仕様の構造説明図を図1～図5に示す。

単位 mm

葺材横継ぎ部断面図  
〈下葺材ありの場合〉

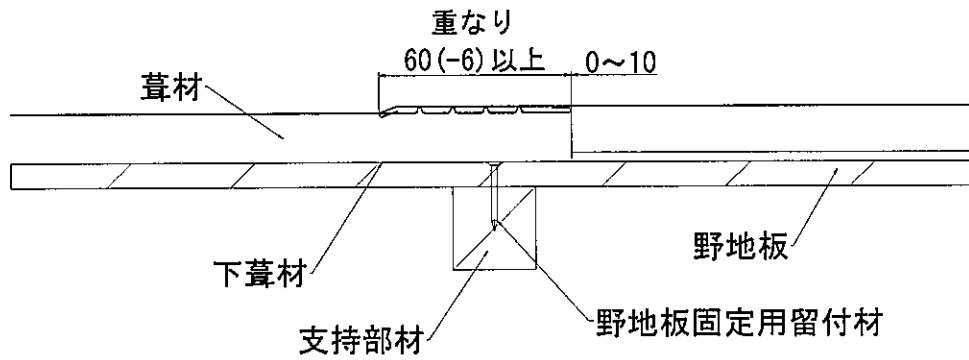
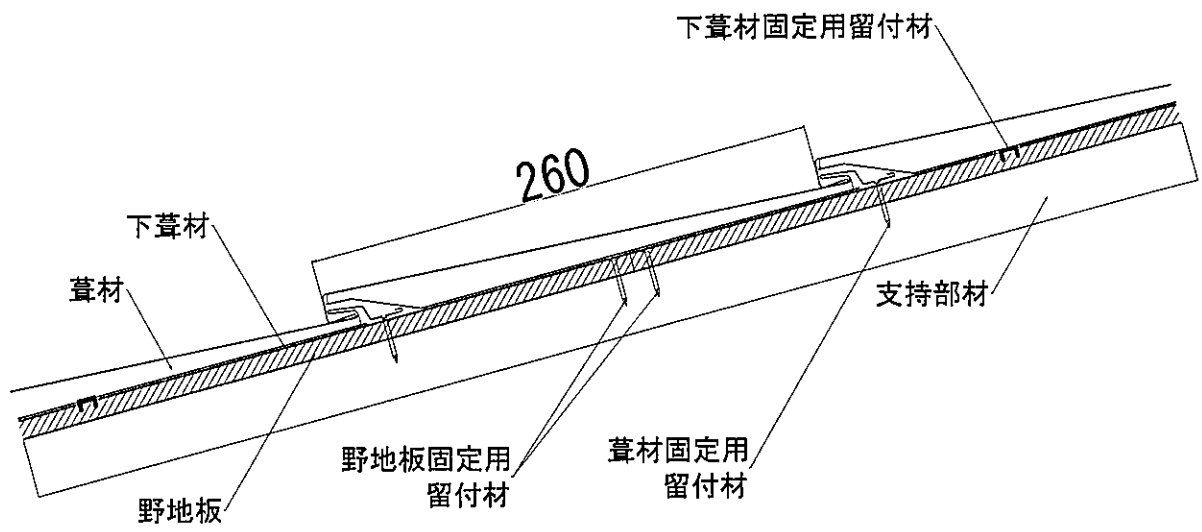


図1 構造説明図



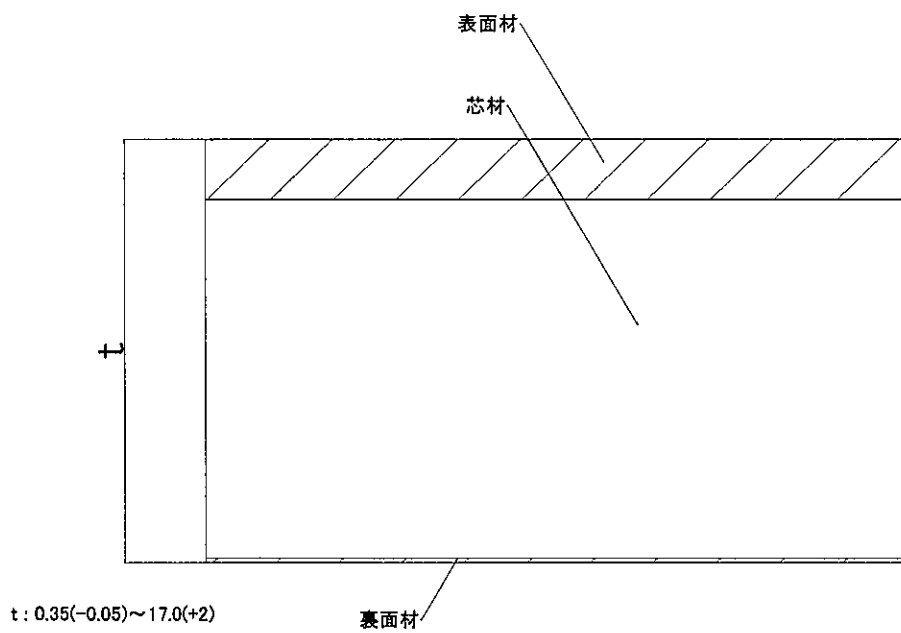
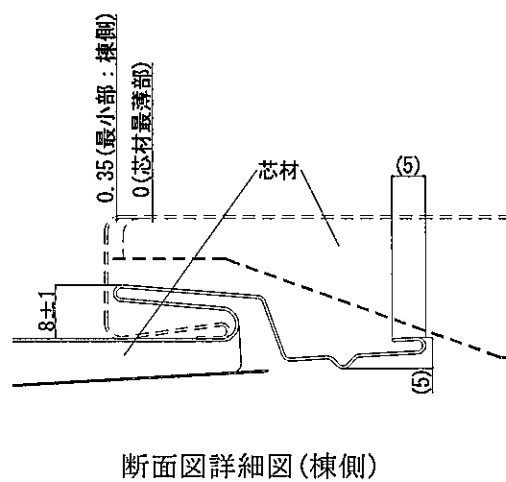
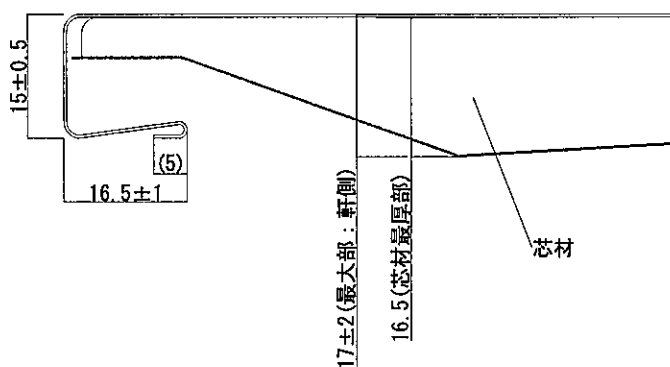
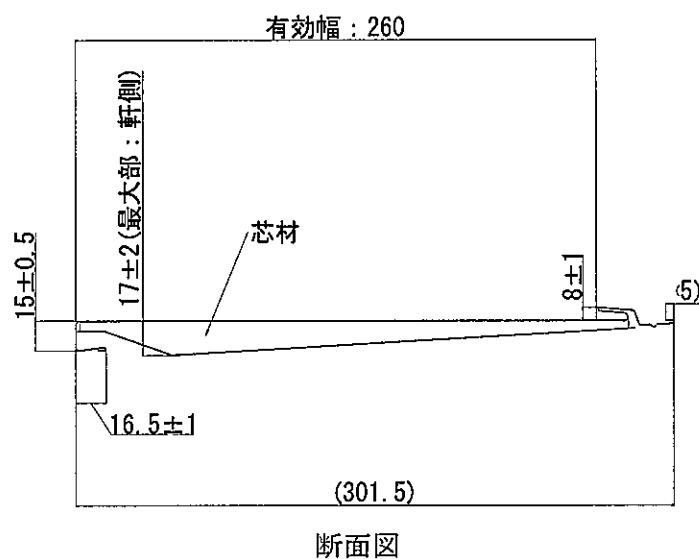
傾斜方向断面図  
〈下葺材ありの場合〉



支持部材の傾斜角度：0°以上 70°未満

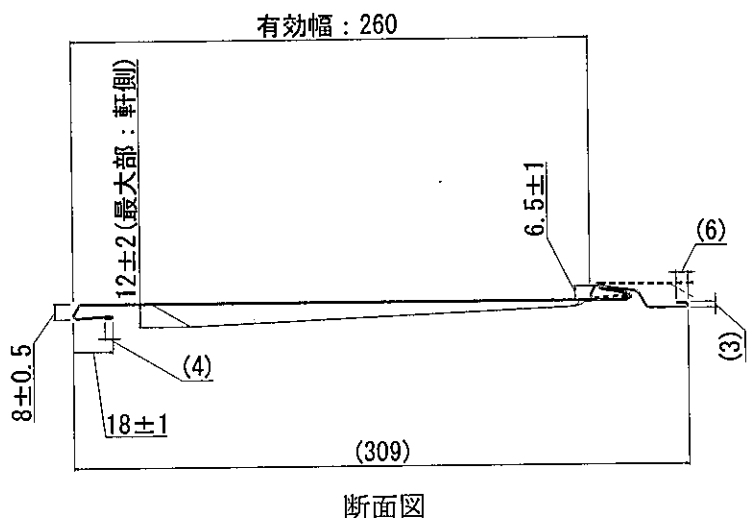
図 2 構造説明図

葺材詳細図(仕様①)

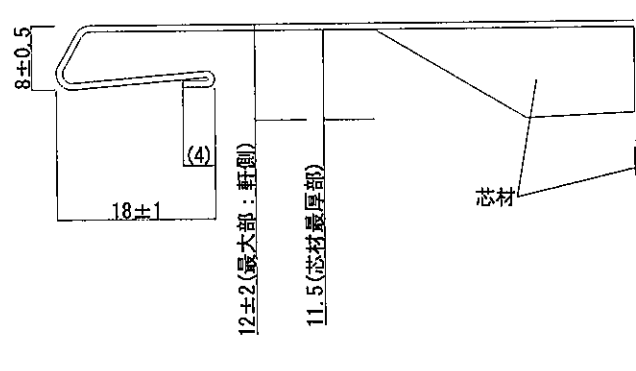


断面拡大図  
図3 構造説明図

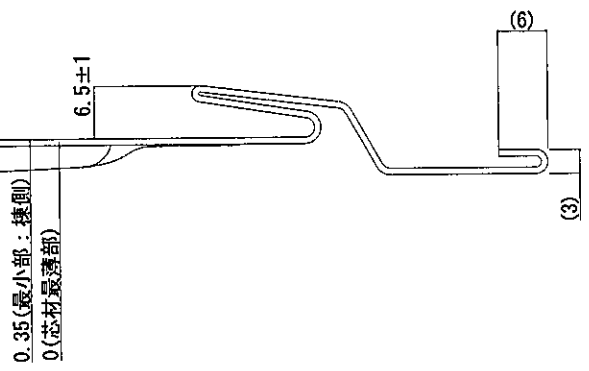
葺材詳細図(仕様②)



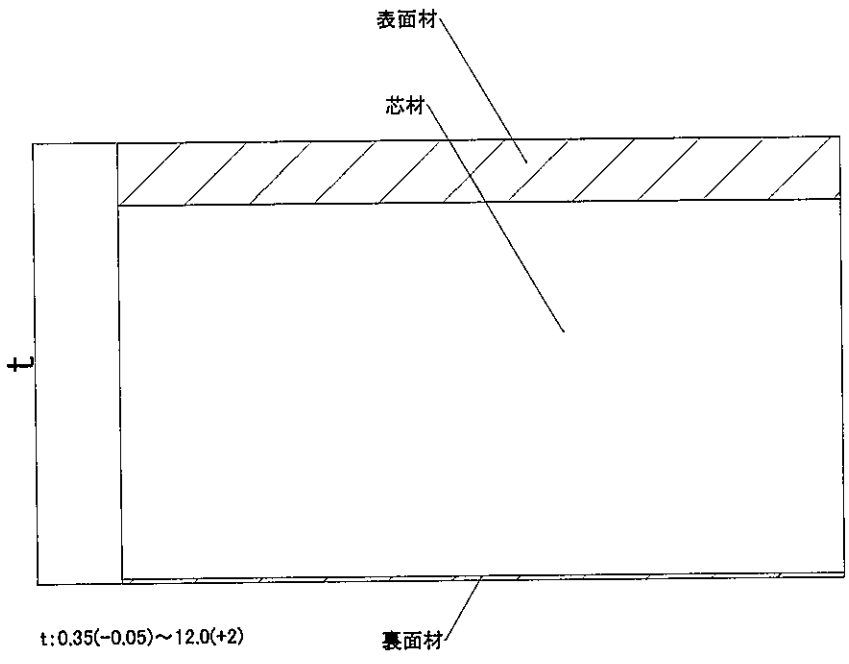
断面図



断面図詳細図(軒側)



断面図詳細図(棟側)



断面拡大図  
図4 構造説明図

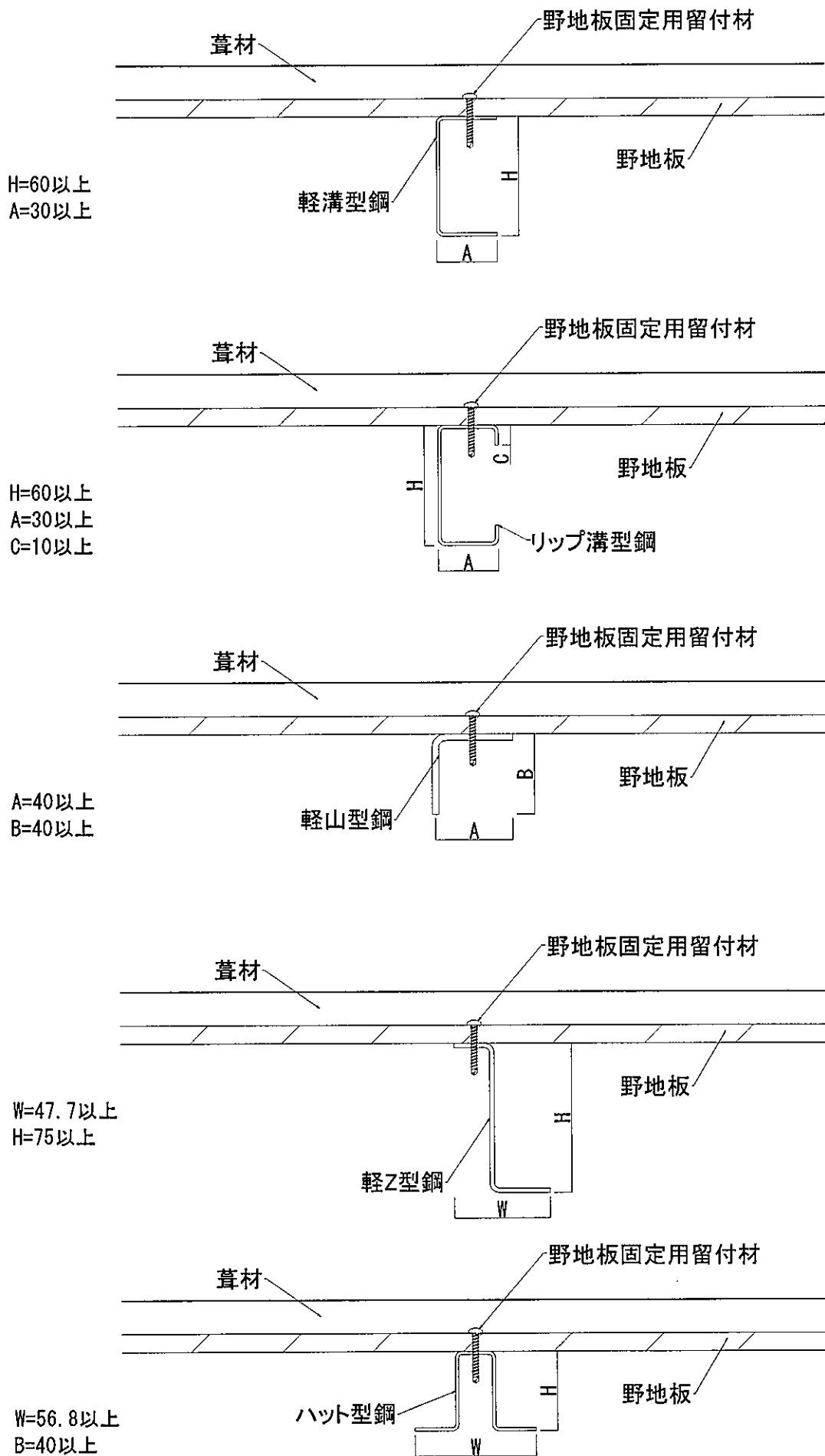


図5 構造説明図(鋼製下地断面詳細図)

## 6. 施工方法

申請仕様の施工図を図6に示す。

施工は以下の手順で行う。

### 1) 支持部材の取付け

支持部材を606mm以内の間隔で取付ける。支持部材の傾斜角度は $0^{\circ}$ 以上、 $70^{\circ}$ 未満とする。

### 2) 野地板の取付け

野地板を支持部材に野地板固定用留付材を用いて取付ける。

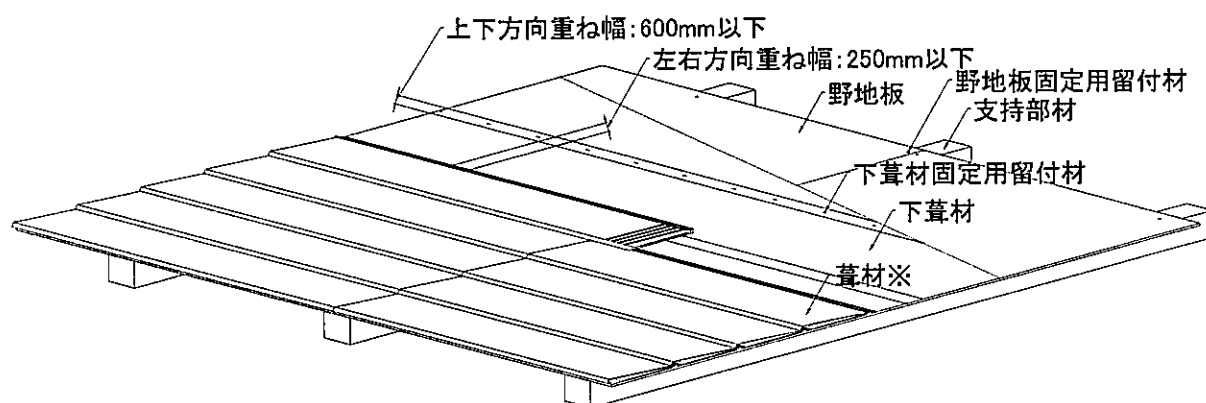
### 3) 下葦材の取付け(なしの場合は省略)

下葦材を野地板に下葦材固定用留付材を用いて取付ける。

### 4) 葦材の取付け

葦材を野地板及び支持部材に葦材固定用留付材で留付ける。

〈下葦材ありの場合〉



※千鳥で葦くこともある。

図6 施工図